

テイヤール・ド・シャルダン奨学金

2006年度 懸賞論文募集

理工学研究科委員長 土屋 隆英
理工学部長 曾我部 潔

2006年度テイヤール・ド・シャルダン奨学金の懸賞論文を例年のように募集いたします。優秀な論文を提出した学生には下記のように奨学金を給付いたしますので奮って応募して下さい。この奨学金は、テイヤールを敬愛し、彼の理想に共鳴したベルギーの篤志家のご好意により、生命科学研究所の北原隆名誉教授を通して上智大学理工学部に恵与されたものです。

- 1. 募集対象者** 大学院学生（理工学研究科だけでなく他研究科の学生諸君の応募も歓迎します。）
- 2. 言語** 日本語または英語
- 3. 論文課題** Quality of Life と私の研究
- 4. 論文体裁等**

日本語：6000～8000字（A4版ワープロ印字）
英語：3000～5000 words（A4版タイプ・ワープロ印字）
1頁目に、論文課題、学生番号 氏名（研究科・専攻）、要約（日本語：600～800字、英語：300～500 words）を書いて下さい。
本文は2頁目から書いて下さい。
各頁のヘッダーに右詰めで [氏名 頁／総頁数] を入れて下さい。
*オリジナル論文に限る（原稿の著作権は上智学院に属します）。
*提出された原稿は返却しません。
- 5. 提出期限
提出先** 2006年10月10日（火）17：00
理工学部長室（4-590室）
- 6. 奨学金**

金賞	30万円	1名
銀賞	20万円	1名
銅賞	10万円	2名
- 7. 奨学金授与式**

日時：2006年12月5日（火）15：30～
場所：11号館・第1会議室（7階）
受賞者は原則として出席のこと。
授与式に引き続き、受賞者による講演会を開催いたします。
- 8. 問合せ先** 理工学部長室（4-590室 内線3300）

テイヤール・ド・シャルダンについて

イエズス会司祭であり、古生物学者であったテイヤール・ド・シャルダン (TEILHARD DE CHARDIN) は、1881年フランスで生まれました。旧石器時代人の石器を発見し、有史以前の人間化石の年代を示す有力な証拠を発見するなど特に中国における研究報告を次々に発表して古生物学者、地質学者として国際的にも広く知られています。彼は自分の専門領域を越え、宇宙と生命進化を意義づけ、自然の中の人間を位置づけて考察しました。彼は人間が自分の未来だけでなく、生命の未来、地球の未来に対しても責任を自覚するよう促しています。

シャルダンは1955年にその生涯を閉じますが、彼の死後40年以上を経た今も全ての科学者にとって一つの模範であり続けています。それは彼が現代の諸問題に対するできあがった一つの解決策を与えているという意味ではなく、その模範を通して、これらの問題の意味をよく見るための正しい態度を私たちに示しているからであると思われます。

テイヤール・ド・シャルダン

TEILHARD DE CHARDIN

- 1881.5.1 フランスの中央部オーベルニュ地方で生まれる。
- 1899 高等中学校卒業後、イエズス会入会
- 1911 哲学と神学の専攻課程を終え、司祭となる。パリ博物館において、ネアンデルタール人に関する研究で有名な古生物学者、マルスラン・ブールの指導を受け、人類古生物学の専門領域に入る。
- 1914 第一次世界大戦勃発。召集を受け、担架兵として従軍。
- 1919 戦後、古生物学研究所に帰って研究を続ける。
- 1922 「フランスにおける始新世のほ乳類とその地層」と題した学位論文を提出し、その論文によってフランスの一流の古生物学者として認められ、パリのカトリック学院地質学助教授に任命される。
- 1923 黄河流域の学術調査団の一員として中国に渡る。ゴビ砂漠周辺地帯、オルドス地方を探検する。旧石器時代人の細石器を発見し、有史以前の人間の存在を示す有力な証拠を初めて発見した。この発見が6年後に中国における北京原人発見の重要な手がかりになった。
- 1924 パリに帰り、中国での収集物を整理し、その研究報告を次々に発表して古生物学者、地質学者として国際的にも広く知られるようになる。
- 1926 再び中国に渡り、中国人研究者の養成に力を入れた。以後20年間中国は彼の第二の祖国になる。
- 1929 中国地質学院の顧問となる。周口店の化石層の地質学と古生物学の指導に当たるようになる。
- 1931 周口店の古人類が石器と火を使っていたことを発見する。
- 1937-38 ビルマへのハーバード・カーネギー探検隊に参加。
- 1939-46 第二次世界大戦のために北京に釘付けになる。
- 1946 フランス本国への帰還。
- 1950 フランス学士院会員に選ばれる。
- 1951 南アフリカ滞在。ニューヨークでバイキング財団とつながりを持つ。
- 1955.4.10 ニューヨーク市で客死。